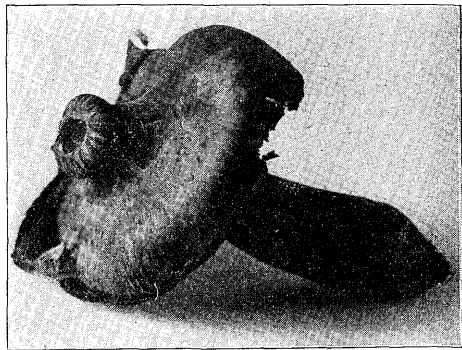
ノモノデアラウ。之ヲ縦斷シテ見ルト親ノ大キナ方ノ蓋ト中心ガ一致シテ居ルカラ小サナ蓋モ正シク透心性ニ縦斷セラレル(第2圖)。而シテ其ノ蓋ノ中ニモ完全ニ襵ガアルコトガヨク分ル。親ノ蓋ハ直徑約 14 cm、莖ハ襵ノ下端ノ邊リデ直徑 23 mm、下部ノ太イ所デ 35 mm、全體ノ目方ハ 145 g デ是ハ別段ニ大キナ松茸トモ云ヘヌ、先ヅ中等ノ大サデアル。畸形ノ部分ノ倒サノ蓋ハ徑約 35 mm 圖ノ如ク全開ハシテ居ラヌ、コノ中ニ在ル襵ハ勿論中央カラ放射狀ニ出テ居ルガ中央ハ當然アルベキ莖ガ無イカラ約 8 mm ノ半球形ノ基礎質ヲ中央トシテ居ル而シテ此ノ半球形ノモノカラ襵ノ出方、卽チ附着ノ仕方ハ彎生デ正常ノ松茸ノ襵ガソノ莖ニ附着スル狀態ト變リハナイ、ツマリ上ノ倒サノ蓋ハ莖ノ無イ小サナ松茸デアル、又此ノ倒サノ蓋ノ襵ニモ胞子ガ完全ニ生育シテ居テ之ヲ鏡檢スルニ色ハ無色、殆ンド球形或ハ廣楕圓形、大サ 6〜7×5〜6 μ デ之亦正常ノ松茸ノ胞子ト異ル所ハ無カツタ。京都ハ松茸ノ本場デ產出量モ多イガ斯ル畸形ニ出遇フノハ珍ラシイ。Teratology ノ1資料トモナラバト思ヒ記載シテ置ク。斯ル畸形松茸ヲ食フト幸福ヲ授カルトノ迷信ガアルサウダ。

第1圖　松茸ノ畸形（島田玄彌寫眞）

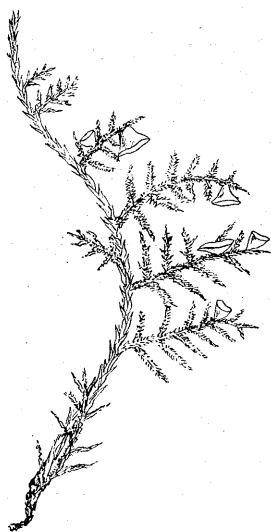
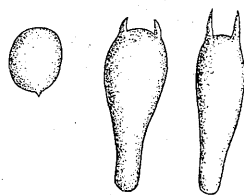
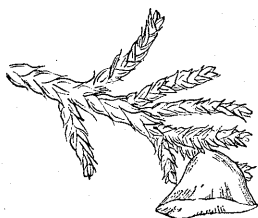
第2圖　松茸ノ畸形（島田玄彌寫眞）

（島田玄彌）

○こけふうりんたけ（蘚風鈴蕈）トけくだたけ（毛管蕈）

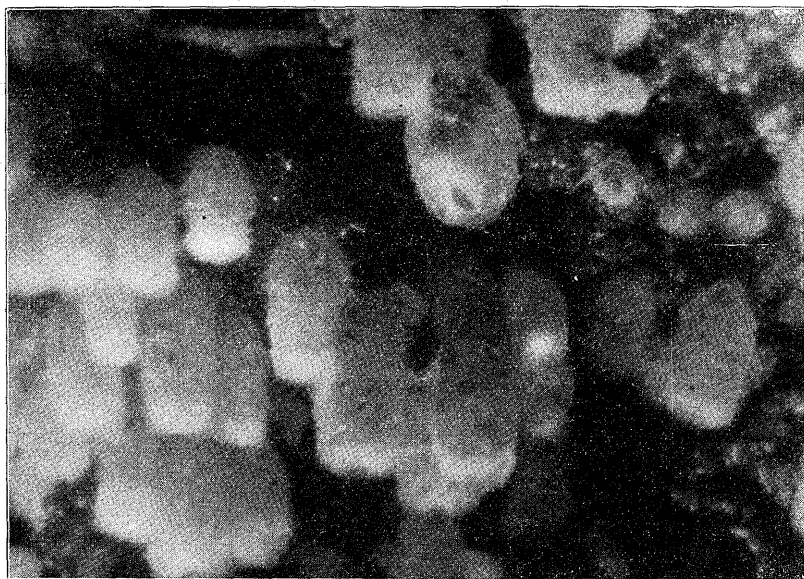
いぼたけ科 (Thelephoraceæ) ノふうりんたけ屬 (*Cyphella*) トくだたけ屬 (*Solenia*) トハ各數十種類ヲ含ム大屬デアツテ、互ニ近緣ノモノデアル。我ガ國ニモ此等ノ屬ニ含マレル種類ガ相當ニ多數アルヤウデアツテ、將來ノ硏究ニ俟ツモノガ多イ。此處ニ、各一種類宛ガ新シク日本デ見出サレタ事ヲ報告スル事トスル。

とげふうりんたけ (*Cyphella muscigena* [Pers.] Fr.)

菌體ハ極メテ小サク、鐘狀、或ハ皿形ニシテ徑 1-4 mm 或ハ不規則ニ開裂シテ 6 mm 近クニナル。殆ンド無柄ニシテ、狹キ底部ニヨリ基物上ニ着ク。全體純白色、薄キ膜質ニシテ、外面ハ殆ンド平滑、ヤヤ光澤アリ。內面モ平滑或ハ不規則ナル粗キ皺アリ。胞子ハ卵形ニシテ 8×6 μ 程ナリ。山地ノ蘚體上ニ群生ス。

第1圖　蘚體ニ寄生スルこけふうりんたけ（左 ×1.3；右×4）

第2圖　けくだたけノ胞子ト擔子基（×1,000）

採集地：伊豆天城山、天城峠附近（21 Jun. 1937）

分布：歐洲、北米、オーストラリア、日本。

蘚類ニ寄生スルふうりんたけ屬ノ種類ハ此ノ他ニ著名ナモノトシテハ *Cyphella muscicola* FR. ガアルガ、此ノ種ノ胞子ハ褐色デアル爲メニ、ふうりんたけ屬カラ離シテ *Phæocyphella muscicola* (FR.) PAT. トスル學者モアル。こけふうりんたけハ乾燥スレバ多少褐色ヲ帶ビル事ハアル

第3圖　けくだたけ（×20）

ガ、胞子ハ常ニ無色デアル。故ニ PATOILLARD ノ取扱フタ如ク、コレヲ *Phæocyphella* 屬ニ入レル事ニハ同意出來ナイ。

けくだたけ (*Solenia villosa* FR.)

菌體ハ初メ壺狀デ下垂シ、成熟シテ圓筒狀トナリ、殆ンド無柄ナリ。長サ 1 mm 程、徑 0.5 mm 程、附着部ハ稍細ク、他端ハ圓形ニシテ小孔ヲ以テ開ク。全體軟キ肉質、純白色ニシテ、表面ハ白毛ニヨリ密ニ蔽ハル。毛ハ纖維狀ノ單細胞ヨリ成リ、無色ニシテ徑 2 μ アリ。內面ハ子實層發達シ、擔子基ハ棍棒狀、13×6 μ 二本ノ擔子梗アリ。胞子ハ卵形、平滑無色ニシテ 4×6 μ ノ大サアリ。朽株、朽樹枝上ニ群生ス。

採集地： 東京文理科大學構內 (15 Sept. 1935), 其ノ他諸處。

分布： 歐洲、北米、セイロン、日本。

本種ニ關シテハ從來充分ナル記載ヲ伴フタ報告ナク、FRIES, SACCARDO, 其ノ他ノ記載モ極メテ簡單デアル。ソノ要點ハ *Solenia candida* FR. ニ似テ表面ニ白毛ヲ密布スル事デアル。大イサニ關シテハ、余ノ採集品ハ大分小型デアルガ、コノ程度ノ變異性ハ認メテ置ク。*Solenia subfasciculata* P. HENN. (in WARB Monsunia p. 7 (1900)) ハ本種ニ類似ノヤウニ思ハレルガ記載ガ簡單デアツテ確實ナ事ハ分ラヌ。　（小 林 義 雄）

○ばいくわあまちやハ支那ニモアルト云フ

ばいくわあまちや (*Platycrater serrata* MAKINO) ハ monotypic ノ屬デ日本特產トシテ知ラレテ居テ、九州カラ四國、紀州ヲ經テ東方デハ遠州秋葉山附近ニ出現シ、所謂襲速紀要素デアルトサレテ居ル。處ガ支那ノ中國科學社生物研究所論文集植物組 [Contributions from the Biological Laboratory of the Science Society of China, Bot. ser.] **10**: 115 (1936) ヲ見ルト、W. C. CHENG (鄭萬鈞) 氏ガ浙江纖管束植物之記載四ノ中ニ本屬ガハジメテ見付ツタト記シテ居ル。即チ浙江省ノ南部デ甌江ノ中流ノ雲和縣地方ニハ極メテ普通ナ樹木ダトイフガ Rehder 氏ガ鑑定シテ居ル故物ハ確カデアラウ、デ本邦特產ハ一ツ減ツテ、曾ツテノつくしがや屬 (*Chikusbichloa*) ガサウデアツタ樣ニ中部支那要素トナツタワケダカ、將來モ本邦特產ノモノガ相當ニ日支共通デアルコトガ判明スルノデハナイカト思フ。近イ將來ニハ行ケサウニ思ヘル地方ノ Flora ノ興味ガサラニ增シタ次第デアル。

（前 川 文 夫）

○なんかいうみひるも（新稱）

學名ハ **Halophila Beccarii** ASCHERSON デアル。先日當教室ノ臺灣ノ未整理標本ノ一部ヲ片付ケタ中ニ阿緱廳東港ト產地ダケヲ記シテ採集者モ年月日モ入レテナイ標本ガアツタ、細イ莖ガ匍ヒ各節カラ短イ側枝ヲ立テ、線狀長楕圓形デ長サ 8mm 內外ノ葉ガコレモ長サ 5-10mm ノ絲狀ノ長柄デ數個集リ着イテ居ル。マコトニ纖弱ノ草デアル。葉脈ハ中肋ノ外ニハ緣邊ノヤヽ內方ニソレニ沿ツテ左右夫々一細脈ガ縱走スルダケデ *Halophila* ニ御馴染ノ橫脈ハ全クナイ。コレハ上記ノ種類デセイロン島、ビルマ、英領ボルネオ、比島マニラ更ニ佛領印度支那東京ニ產スルコトガ知ラレテ居リ、日本ニ始メテノモノデコノ臺灣高雄州屛東郡東港ハ又分布ノ北限デアル。　（前 川 文 夫）